

私たちが「見通し」をしっかりと持たないままに核技術などを手にいれ、手に負えそうもないプルトニウムや核廃棄物を残してしまった、ということは事実でしょう。しかしまだ「希望」が残っていると信じたいのです。この辺で核の時代に終止符を打ち、現存する核兵器や放射性廃棄物を、知恵を合わせて厳格に管理していくことに努め、より平和で安全なものへと文明を転換していく努力をすれば、まだ間に合うと思うのです。パンドラの箱は閉じることはできないでしょうが、その中に残った「希望」を取り出し、育てていくことはできるのではないのでしょうか。 2000年7月 高木仁三郎さん、最後のことばから



原発勉強会特別講演会

原発ゼロ社会への道を探せ～市民がつくる新しい脱原発政策

主催/4月3日のひろば 協力/原子力市民委員会

2014年6月22日(日)

午後1:30開始 開場1:00

大泉総合会館 第4会議室

北杜市大泉町谷戸3025 図書館下

参加費 500円

原子力市民委員会をご存知ですか？脱原発 政策がまったくドン詰まりとなった2013年4月、業を煮やした学者や弁護士、元原発技術者や脱原発をめざす人々が集まり始まった民間の団体です。事務局は高木仁三郎市民科学基金内に置かれています。委員会発足一年後の今年4月、予定通り脱原発政策 大綱といういささかオーバーな名前がついた238ページという分厚い労作が発表されました。私たち「4月3日のひろば」もそこでの呼びかけに答え、これをテキストとする勉強会を企画しました。この講演はそれへの参加の呼びかけでもあります。2人の講師の方々はこの大綱の執筆者です。



汚染水対策と
廃炉の行方

講師：筒井哲郎さん（プラント技術者の会）



大飯判決をどう読み、どう活かすか

講師：奈良本英祐さん（法政大学名誉教授、福島子ども支援・八王子）



↑脱原子力政策大綱

* 原発連続勉強会は7月10日から始まります。月2回で10回連続です。原則的には毎月第2と第4の木曜日、夜7:30から大泉総合会館会議室でおこないます。ただし、特別ゲストが講師となる場合は変更となる可能性がありますのでご注意ください。7月の2回目は阿修羅のごとく疾走する八面六臂の満田夏花さんほかを特別講師に予定しています。どうぞご期待下さい。詳細は未定です。* 勉強会のお申し込みは講演会会場でも受け付けます。お申し込み時に10回分2500円を会費として申し受けます。テキスト代1000円は別になります。原子力市民委員会のHPからも入手できます。

申し込み・お問い合わせ：0551-36-6017 080-7068-2828 (はるき)